

みなさんが大事にしていることは？

T・・・「ちびっこクラブ」のスタッフを始めた時、夫は当初、忙しくなるだけだからやらなくていいのではないかと言いました。

下の子がよく熱を出す子だったので、夫は心配して反対したようです。でも私は、人の役に立てるのは嬉しいことだし、そういうきっかけをもらえるのに応えたくて、始めました。だんだん子ども手を離れて、「みっけ！」の活動もできるようになりました。



座談会の様子

ただし、「家庭が基本」と私が決めて、家事も手抜きをしないようにしています。子どもたちも夫も外に出てがんばって、疲れて戻ってきて家庭で充電して、また外に出ていくわけですし、その家庭を守っているのは自分、という信念です。

H・・・夫は、私が何をしているのか、初めはよく分かっていなかったと思います。次第に、ボランティアで活動しているのだと理解してくれるようになりました。

外に出て生き生きと活動するためには家庭がベースという考えは、私も同じです。

家事は基本的にはきちんとやりたいと思っていますが、できない時もあります。そういうときは、手抜きもします。

自分が無理をしたら、自分がやっていることを自分が否定することになってしまいますよね。

そんな時も、夫は特に何も言いません。家事ができていなくてもあまり気にならないようですし、本人は家事が苦手で、手を出しても私がやり直してしまうのもわかっているのかも。お願いしたことは、やってくれますね。

活動を始めてからの、ご自身の変化はありますか？

T・・・活動が始まる前はドキドキしますが、始まってしまえば共感してくれる方や活動に参加して下さる方の期待に応えられるようがんばりたいという気

持ちになります。それに私自身もそこあそびが好きなので、楽しんでやっています。

H・・・活動の中で人と関わることが多いと、あちこちで関わりができてきて、忙しくなってきました。

時々、中途半端かなあと思うことはありますが、充実している毎日を過ごせていると思います。

子どもは現在、思春期真っ只中ですが、私の後ろ姿を見てくれているのではないかと思います。

「ママRing」のおかげでいろいろな活動が増えて、他の人から我が子も育ててもらっていると常日頃感じています。

W・・・今では子ども会の活動などいろいろ広がってきました。

子ども会の活動を見ると、お父さんたちが子どもたちにいるいろいろ教えるたりすることもあるので、いい経験になるのではないかと思います。

今では、夫も地域に連れ出していきたいと思うようになりました。



「みっけ！」の活動の様子

お子さんが小さくて大変な時の、ご夫婦の工夫は？

H・・・特に話し合っていないませんが、おそらく、とても私の行動を見ていてくれたのだと思います。

そして、買い物や休日などの様々な場面で、私が息を抜くところを作ってくれていました。

子どもが3ヶ月くらいの時に、度仕事に復帰したので、子連れで出勤するなどかなり大変でした。

その時、家では夫がずいぶん家事・育児をやってくれました。

料理はできませんが、子どもの面倒を見てオムツを替えてくれたり、お風呂掃除や洗濯をしてくれたり、私はそれほどほとんどなかった記憶はありません。

やはり母親の方が子どもと長い時間一緒にいるというのがありますが、あの時期に関わってくれたのは助かったなと思っています。

W・・・夫は人見知りなのか、人と話したり一緒に動いたりするのは苦手なようです。それでも、家では「たけのこ」の影響か、キャンプなどもやるようになりました。

T・・・夫は、自分の面倒も見られないような人でした。

子どもが小さい頃は、子どもは可愛いと思うけど、その世話をしたり家事の手伝いをしたりというところに考えが全く及んでいなかったようでしたので、私は諦めていました。



「ママ Ring」の活動の様子

でも、今ではずいぶん変わりました。いろいろな大変なことを乗り越えて、夫婦をやつてきて良かったと思っています。夫とは、もう身体は成長しないけれど、人間としてお互い少しずつ成長しているよね、と話しています。

夫にとつては、休日は自分の身体を休める日なので、わざわざ土日によつて「たけのこ」のファミリーデーに参加することはなかったです。

私もそれはそれで良いと思っています。夫が忙しくて疲れているのはわかるので、休んでもらいたい。「目の前の子育てを頑張りたいので」「たけのこ」で炊飯やりますよ。」つていう感じです。

相互理解も素晴らしく、みなさん、とても楽しんでいらつしやるようですよ？

W いろいろな関わりが増えていくと、大変だけれど関わるのが楽しいと思うようになりました。自分が活性化される感じがします。

H 子どもが産まれたことによつて、私も夫も成長していると感じます。

たとえば、子ども会ですが、最初は夫の方が先に関わり、そのあと私も参加するようになりました。

このような地域での活動は、学校での交友の広がりなど、様々な刺激があつて、私は楽しかったです。

家族でこうした地域の活動に参加することによつて、夫も地域に入りやすくなったと思います。

今、夫はソフトボールのチームに入つて活動しています。お互いに地域での関わりができて良かったと思っています。

T 確かに子育てという目的があつて、お互いが助け合おうという、結果ができていく感じがします。

今、そして、これからについて思うことは？

T 子どもが産まれて、正直でいなければいけないと思うようになりました。そのためには、ありのままの自分で子育てすることが、すごく自分が楽に

なることではないかと思えます。

そして自治会や子ども会など地域の中で、未熟な私を認めてもらいつつ、自分の子どもも育ててもらえるのがとてもありがたいと思っています。

H 以前は今のような活動をするようになるとは全く思っていなかったわけですが、子育ての活動から始まり、地域の活動、そして防災・防犯活動など家族として生きていく上での話が出てきています。今まで私がつてきたことは間違ひではなかったと、今日お話しして改めて感じています。これからは地域との繋がりを大事にしていきたいと思えます。

W 今では、学校のPTA活動もやっていますので、そちらが一段落したら、今度は地域の活動にも入りたいと思つています。

私は長女が1歳のときに昭島に引越してきたのですが、今やつていて活動は、その当時のことに繋がっているのだなと感じました。

今回の座談会では、家庭や家族関係のことについて、他のお家のことをお聞きして、いろいろ発見もあり、楽しかったです。

T それぞれスタイルが違うというのが面白いですよ。

家庭も、それぞれの家で違っていいんだと改めて思いました。

夫婦や家族のスタイルはそれぞれであり、更に、ご家庭ごとに常に変化していることを今日は実感しました。

★座談会を終えて★

市内には子育て中のママさんたちのグループがたくさんありますが、今回お話を聞いた方たちは、もとは「たけのこ」という子育ての仲間の中で様々な経験、悩みを共有しながら育つたママさんたちでした。そのママさんたちの中から「みつけ！」のように自らグループを立ち上げ仲間を集め、家事を行いながらグループの運営管理まで頑張つているママさんや、「ママ Ring」のように仲間と立ち上げた例もあります。また、妻の子育ての大変さを見た夫が子育てグループを探し、妻に入会を勧めたなど夫婦で子育てに取り組んでいました。子育てグループ内の活動にとどまらず地域のボランティア活動まで輪を広げて活動しているご夫婦もおられるなど、まさに男女共同の活動を垣間見ることができました。

活動が自分の子育てからグループ内の子どもたちを相互にケアし、また、新しいグループを立ち上げ、仲間を増やし、さらにはグループの外での地域ボランティア活動までママさんたちの活動が拡大してきました。

このような素晴らしい活動は夫婦の相互理解、共同の活動があつてできたことです。

市では、「男女共同参画プラン」を進めることにより、男女共同の活動を応援していますが、このような相互理解に基づくご夫婦こそが目指す姿なのではないでしょうか。